

2017年3月期決算 新中期経営計画2019 説明資料



2017年6月8日
株式会社やまびこ

1. 2017年3月期	
決算概要	2
2. 2017年12月期	
業績見通し	10
3. 中期経営計画2017	
総括	17
4. 中期経営計画2019	
方針・重点施策など	20
添付資料	
会社概要など	35

1. 2017年3月期 決算概要

国内はOPEが前年並みにとどまったものの、農機が堅調で産機も増収に転じた。
海外は、OPEが北米の景気拡大や拡販策、西欧のマーケティング効果や中国の販路開拓などにより販売数量を伸ばしたが、円高の影響により減収。

《セグメント概況》 略称「OPE」= Outdoor Power Equipment

市 場	セグメント	市場概況	当社
国内	小型屋外作業機械 (OPE)	●刈払機は安全意識の高まりなどから、ナイロンコード仕様を中心に堅調に推移したものの、チェーンソーが減少したことなどから前期並み。	
	農業用管理機械	●農地の集約化促進による効率化需要などにより、4-3月の農業機械出荷額が前年比1.1%増（日本農業機械工業会）とプラスで推移。	
	一般産業用機械	●人材不足や資材費高騰は継続したものの、4-3月の国内建設機械出荷額は前年比▲1.3%（日本建設機械工業会）までマイナス幅が縮小。	
海外	小型屋外作業機械 (OPE)	●北米市場：雇用情勢や住宅着工数の改善など、景気拡大の継続に加え、天候も順調となったことなどにより市場も拡大。	
		●中南米市場：政治の混乱・経済悪化問題により、依然として販売低迷が続いた。	
		●欧州市場：ロシアは低迷したものの、西欧を中心に景気回復および天候が順調に推移して堅調。	
	農業用管理機械	●北米市場：記録的な豊作がもたらした穀物価格低迷の影響などにより、引き続き大型機械は販売が減少。	

2017年3月期 経営成績



(百万円)	16/3期	構成比 (%)	17/3期	構成比 (%)	前期比 (%)
売上高	113,348	100.0	111,945	100.0	▲ 1.2
売上原価	80,771	71.3	78,908	70.5	▲ 2.3
販管費	25,846	22.8	25,416	22.7	▲ 1.7
営業利益	6,730	5.9	7,620	6.8	+ 13.2
経常利益	6,402	5.6	7,288	6.5	+ 13.8
親会社株主に帰属 する当期純利益	4,700	4.1	2,374	2.1	▲ 49.5

為替レート ※期初の想定為替レートは1ドル110円、1ユーロ120円。

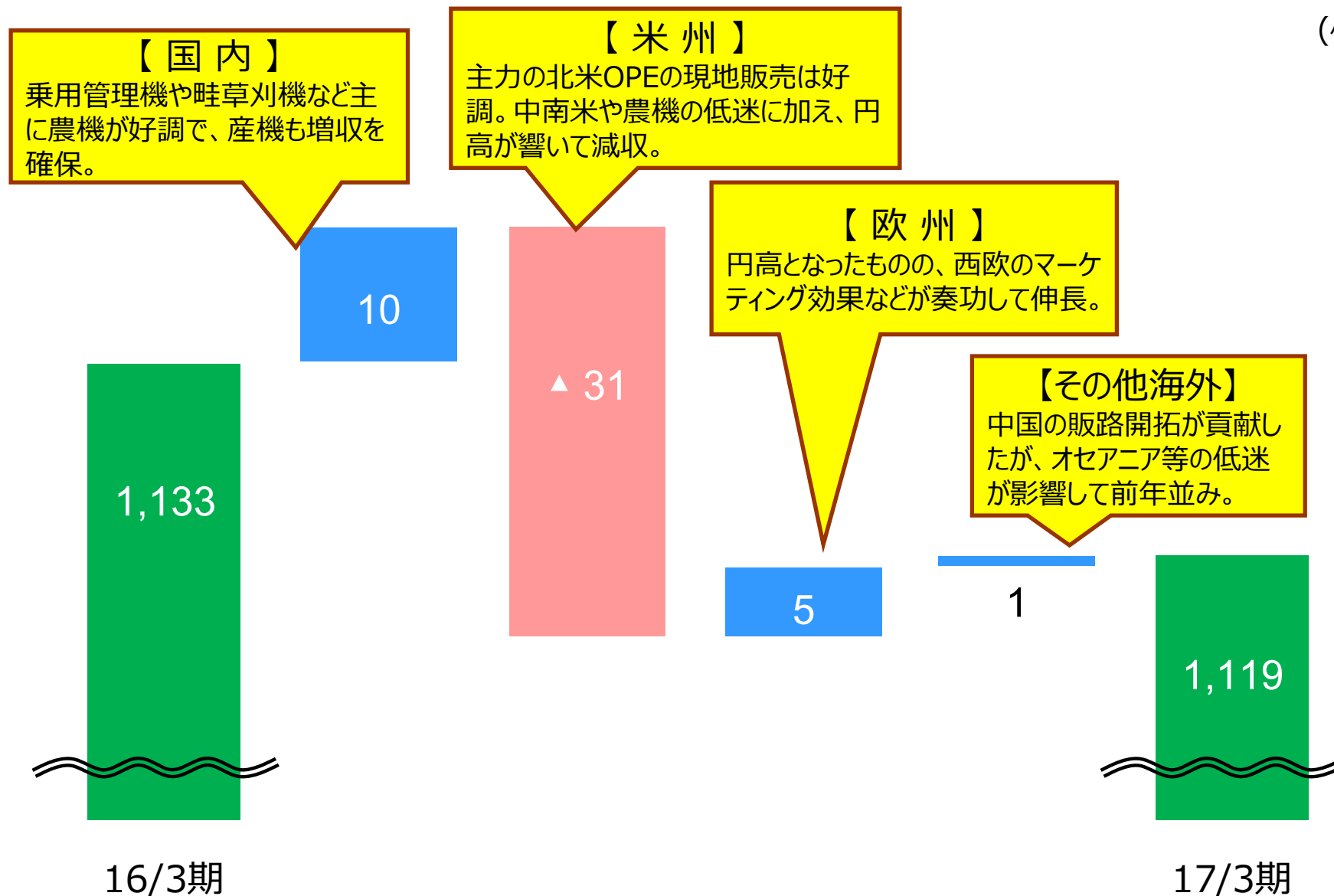
1ドル	当社レート	121 円	109 円	▲ 11.7
	米国子会社 換算レート	121 円	109 円	▲ 12.3
1ユーロ		132 円	120 円	▲ 12.6

- ✓ 売上高は北米や欧州の販売は好調、国内も堅調に推移したものの、主に円高ドル安の影響により減収。
- ✓ 営業利益は原価率の改善や販売数量の増加などが利益を大きく押し上げ、また、経常利益も為替差損による目減りを吸収し、いずれも過去最高益。
- ✓ 最終利益は厚生年金基金の解散に伴う特別損失の計上が響いて減益。

連結売上高の増減



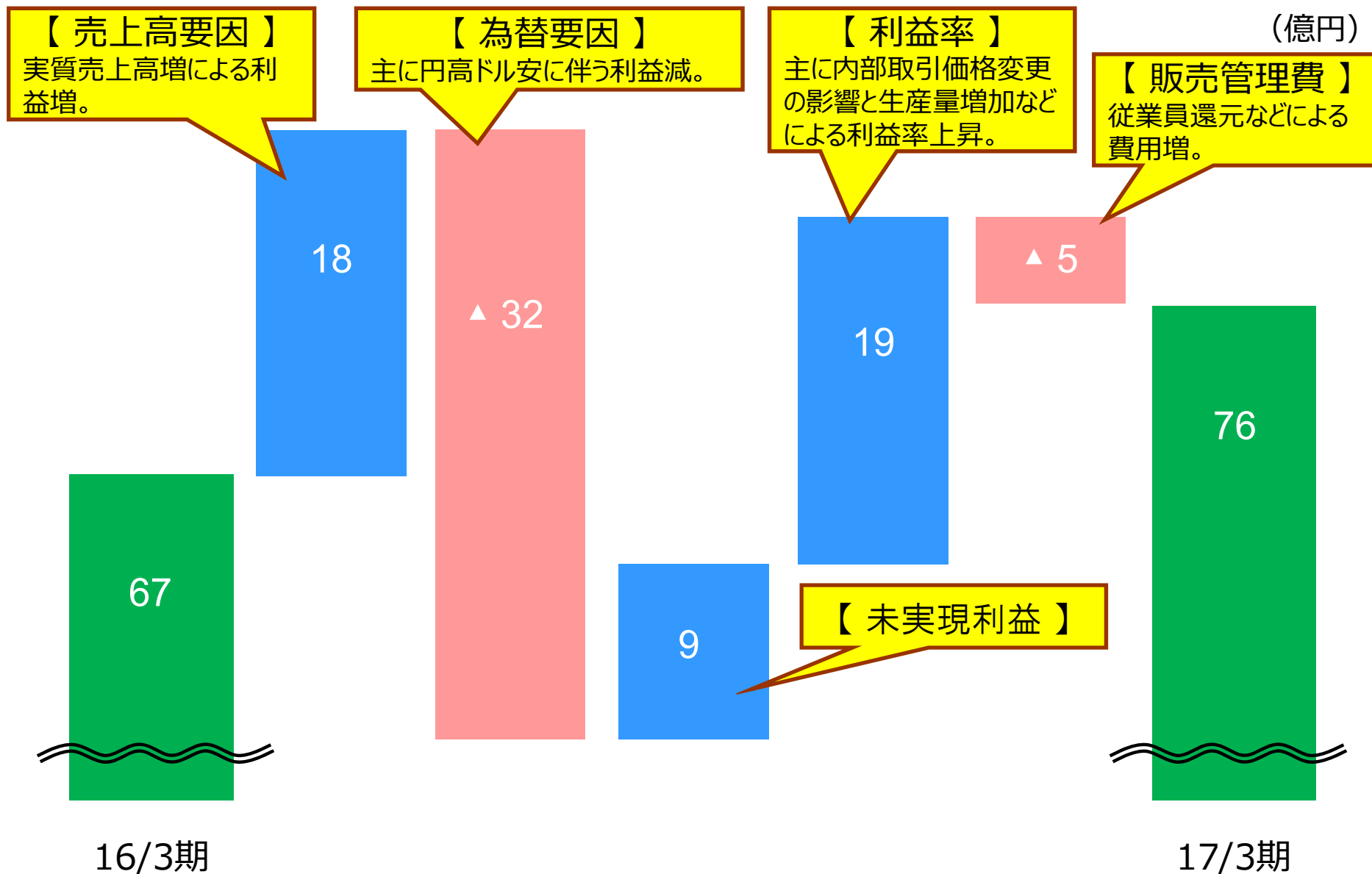
(億円)



連結営業利益の増減



(億円)

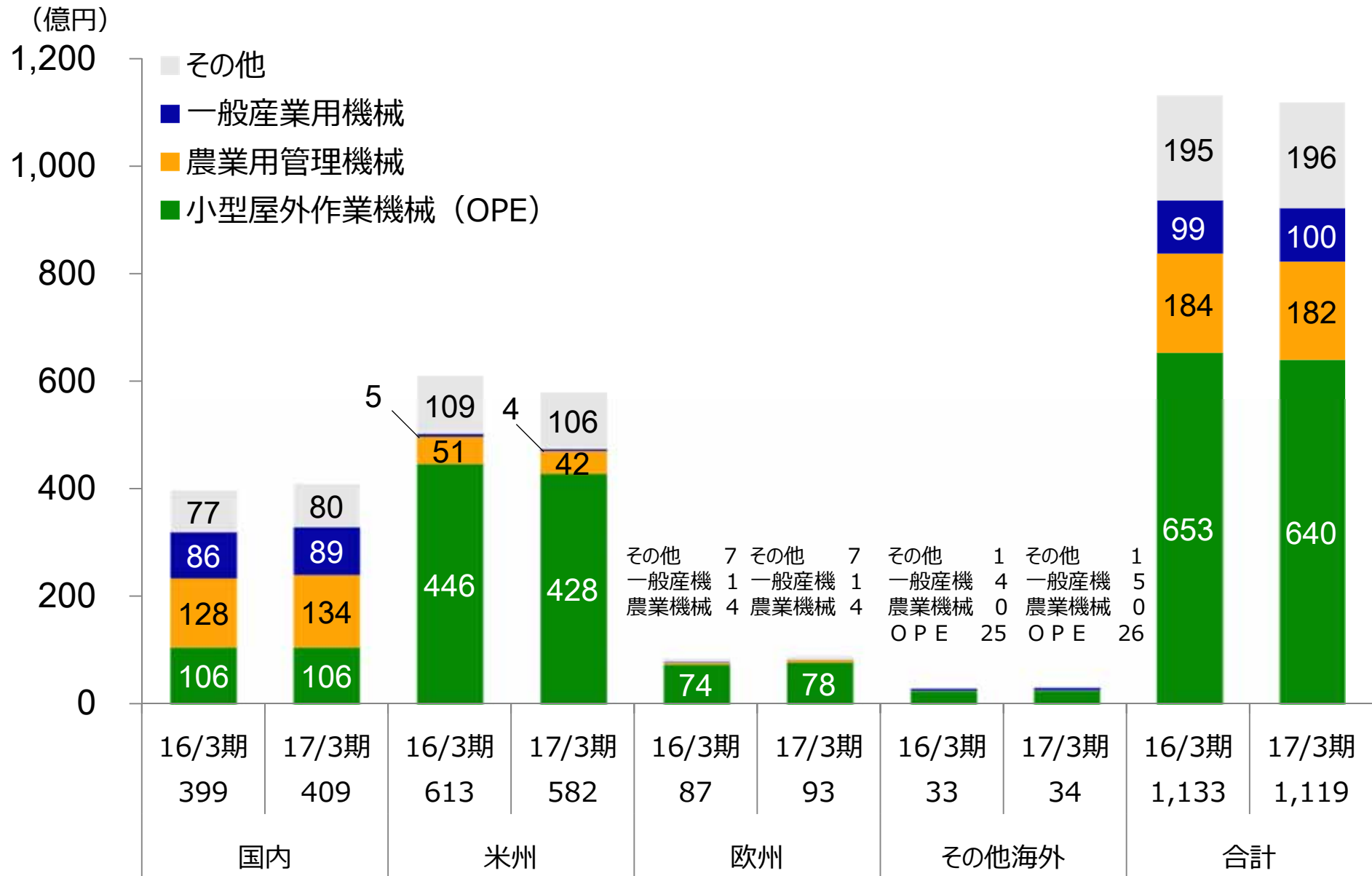


セグメント別経営成績

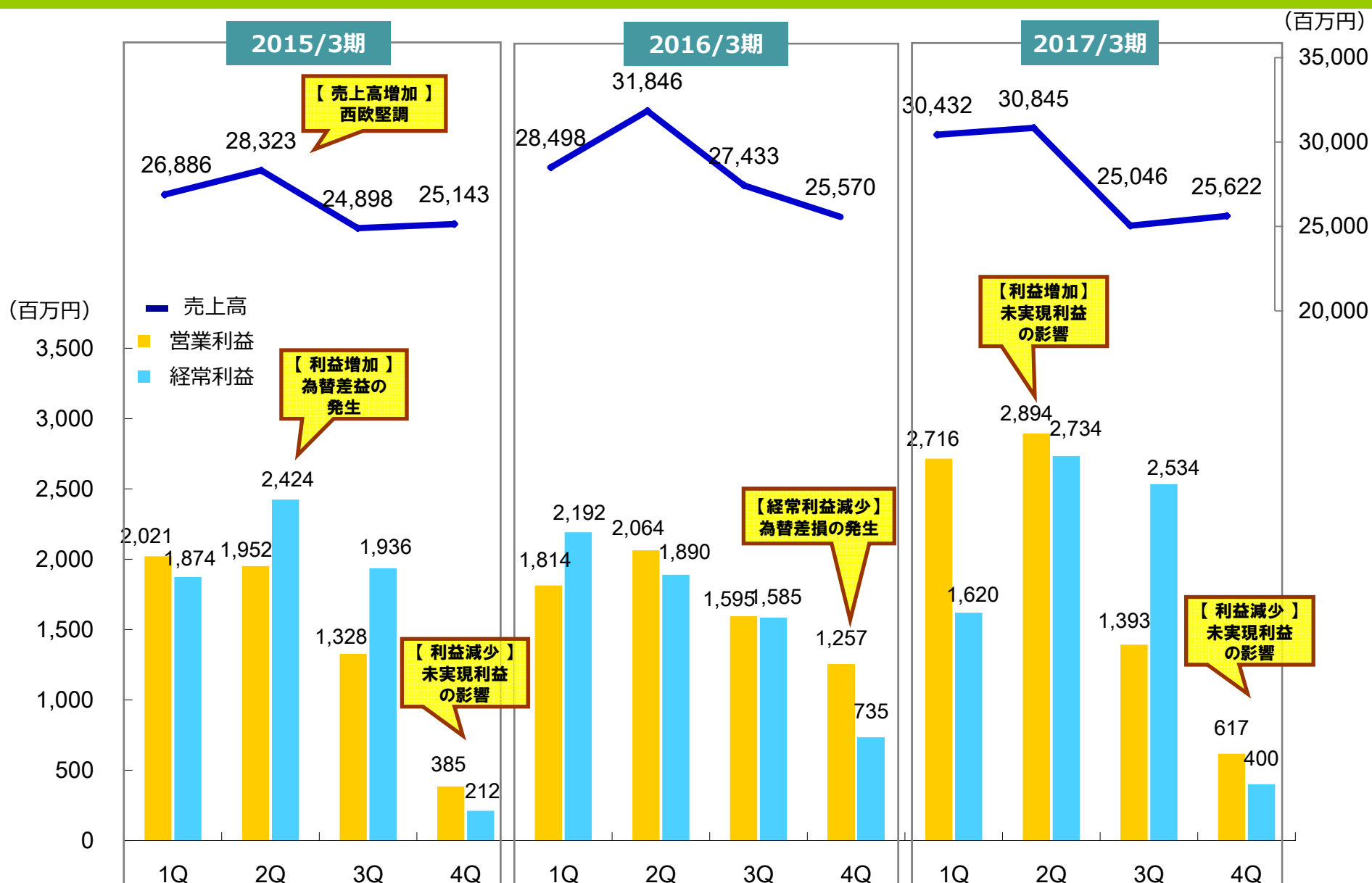


(百万円)		1 6 / 3 期		1 7 / 3 期		
			構成比 (%)		構成比 (%)	前期比 (%)
売上高		113,348	100.0	111,945	100.0	▲ 1.2
	小型屋外作業機械	65,368	57.7	64,018	57.2	▲ 2.1
	農業用管理機械	18,494	16.3	18,252	16.3	▲ 1.3
	一般産業用機械	9,935	8.8	10,029	9.0	+ 0.9
	その他	19,549	17.2	19,645	17.5	+ 0.5
営業利益		6,730	-	7,620	-	+ 13.2
	小型屋外作業 ・農業用管理機械	4,820	71.6	5,105	67.0	+ 5.9
	一般産業用機械	▲ 544	▲ 8.1	▲ 772	▲ 10.1	-
	その他	8,253	122.6	8,693	114.1	+ 5.3
	全社共通費	▲ 5,798	-	▲ 5,405	-	-

セグメント別地域別売上高実績



四半期別 業績推移



2. 2017年12月期 業績見通し

● 決算期の変更

- ✓ すべての連結子会社と決算期を12月末に統一※することで、予算編成や業績管理など経営および事業運営の効率化を図ります。

● 事業セグメントの変更

- ✓ 従来「その他」に含めていた、「すべての部品やアクセサリ」を、2017年12月期より、関連する製品と同じ事業セグメントに振り分けます。
- ✓ 従来「農業用管理機械」に含めていた、「ロボット芝刈機」を、2017年12月期より「小型屋外作業機械」に変更します。
- ✓ これらの変更により、各事業運営の最適化を図ります。

※2017年6月29日開催の第9回定時株主総会で「定款一部変更の件」が承認されることを条件としております。

決算期を12月31日に変更※¹。第10期（2017年12月期）は9ヶ月決算※²。
第10期見通しは第9期（2017年3月期）実績を同期間に調整して比較。

<9期－10期 決算短信等財務報告数値>

	2016年				2017年			
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
12月決算会社 (海外子会社)	第9期				第10期			
3月決算会社 (当社および国内子会社)								

<9期－10期 比較参考用調整後数値※³>

	2016年				2017年			
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
12月決算会社 (海外子会社)	第9期				第10期			
3月決算会社 (当社および国内子会社)								

※1. 2017年6月29日開催の第9回定時株主総会で「定款一部変更の件」が承認されることを条件としております。

※2. 3月決算会社は4-12月の9ヶ月間、12月決算会社は1-12月の12ヶ月間となります。

※3. 第9期調整後数値は監査法人による監査は受けておらず参考情報となります。

2017年12月期 事業セグメントの内容変更

変更前

小型屋外作業機械（OPE）



変更後

小型屋外作業機械（OPE）



「その他」に含まれていた部品等を各事業に移行

事業セグメント	主な製品等
小型屋外作業機械（OPE）	刈払機、チェーンソーなど
農業用管理機械	防除機、畦草刈機、 ロボット芝刈機 など
一般産業用機械	発電機、溶接機など
その他	部品・アクセサリー など

事業セグメント	主な製品等
小型屋外作業機械（OPE）	刈払機、チェーンソー、 ロボット芝刈機 など、および 関連部品・アクセサリー
農業用管理機械	防除機、畦草刈機など、および 関連部品・アクセサリー
一般産業用機械	発電機、溶接機など、および 関連部品・アクセサリー
その他	上記に含まれない商品など

2017年12月期（通期） 予想



(百万円)	17/3期 調整後実績 (未監査) 【9ヶ月】	構成比 (%)	17/12期 予想 【9ヶ月】(※)			<参考> 17/3期実績 【12ヶ月】
			構成比 (%)	調整後 前期比 (%)		
売上高	98,021	100.0	103,000	100.0	+ 5.1	111,945
売上原価	68,745	70.1	73,600	71.5	+ 7.1	78,908
販管費	21,306	21.7	23,100	22.4	+ 8.4	25,416
営業利益	7,970	8.1	6,300	6.1	▲ 21.0	7,620
経常利益	7,860	8.0	6,100	5.9	▲ 22.4	7,288
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,129	3.2	4,400	4.3	+ 40.6	2,374

為替レート

1ドル	当社レート	107 円	110 円	+ 2.7	109 円
	米国子会社 換算レート	109 円	111 円	+ 1.9	109 円
1ユーロ		119 円	120 円	+ 0.9	120 円

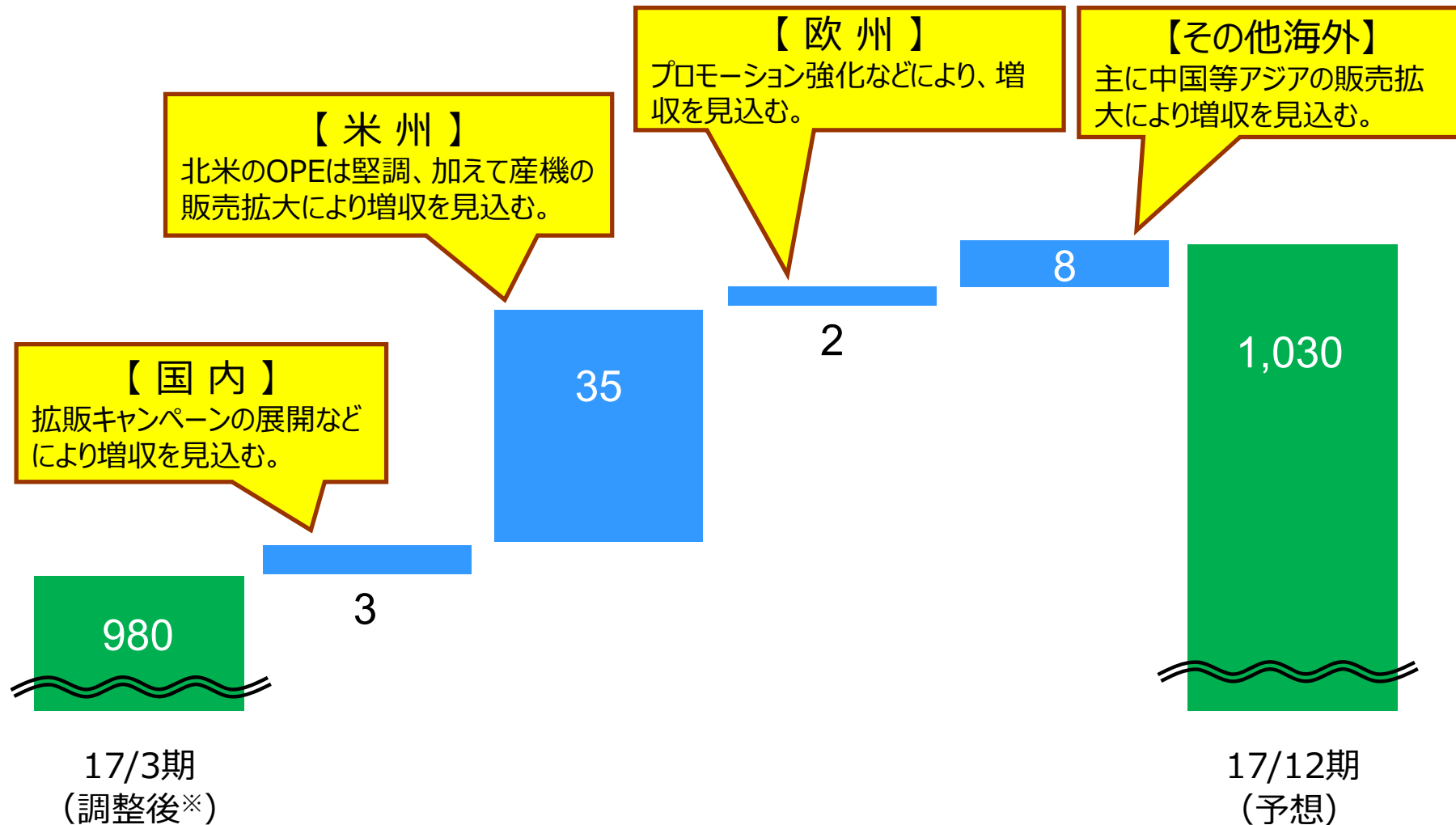
- ✓ 主に海外売上の伸長などにより増収を見込む。
- ✓ 前期計上の特別損失が無くなり、最終利益は大幅増益の見込。

※17/12期の業績予想は、2017年4月から12月の9ヶ月間の予想数値となるため、17/3期実績を9ヶ月（2016年4月から12月）の期間に調整して比較しております。

連結売上高の増減（予想）



（億円）

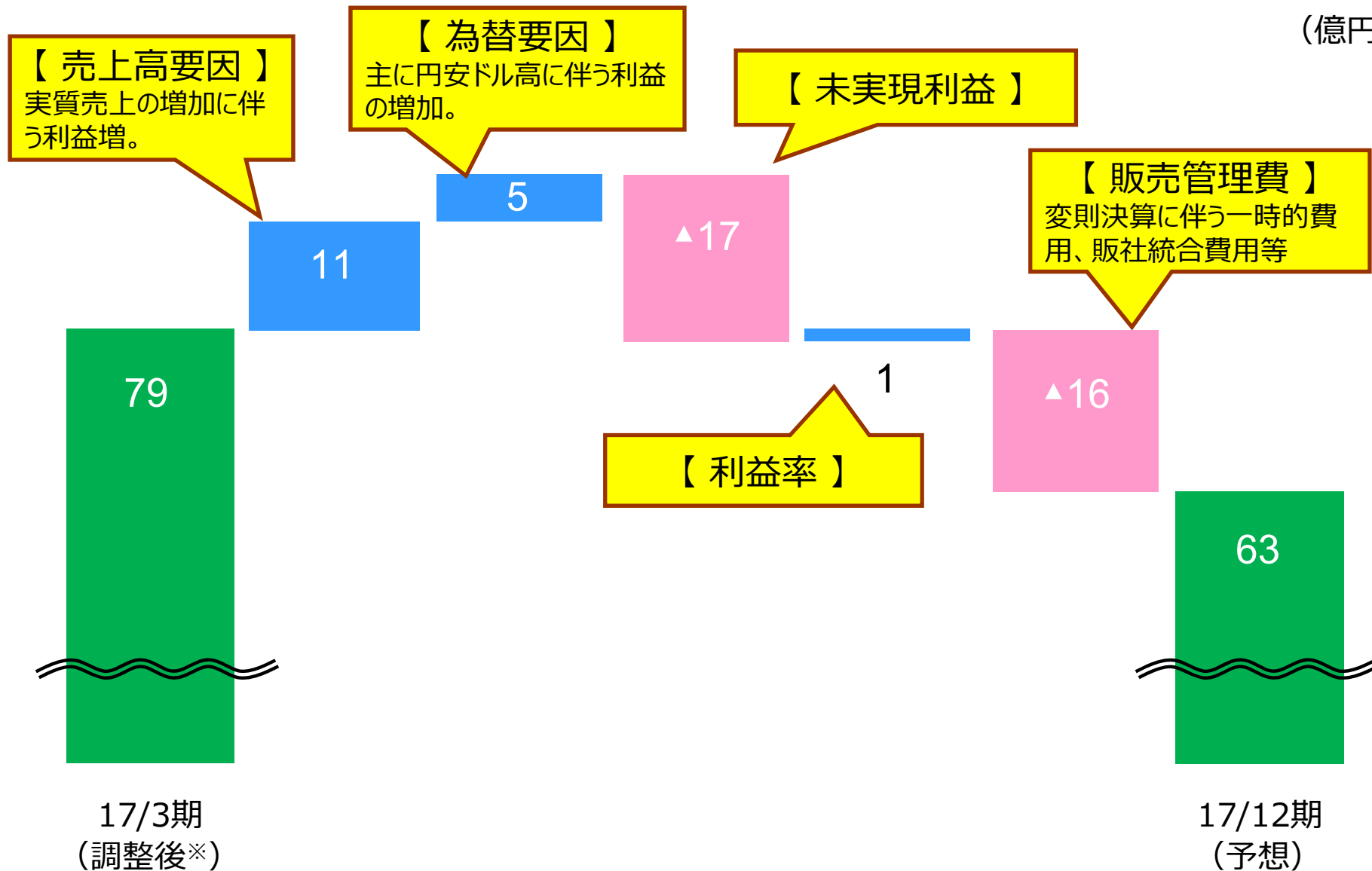


※2017年12月期の業績予想は、9ヶ月間の予想数値となるため、2017年3月期実績を9ヶ月の期間に調整して比較しております。

連結営業利益の増減（予想）



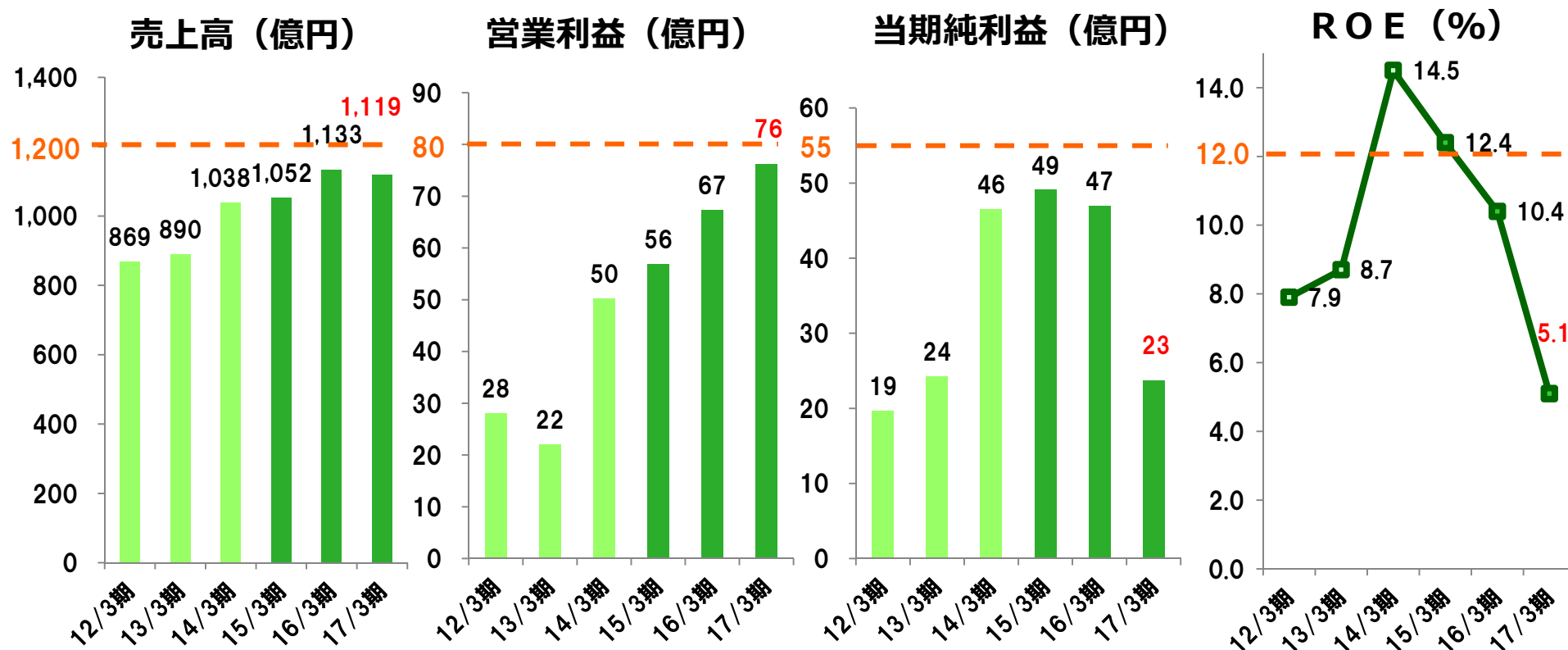
（億円）



※17/12期の業績予想は、9ヶ月間の予想数値となるため、17/3期実績を9ヶ月の期間に調整して比較しております。

3. 中期経営計画2017 総括

前中計から更に売上高を伸ばし、着実に利益率の改善を果たすも、当初計画には届かず。



中期経営計画2017

「攻め」の3ヶ年と位置付け、基本三事業の拡大に積極的に挑戦し、
強固な経営基盤を構築

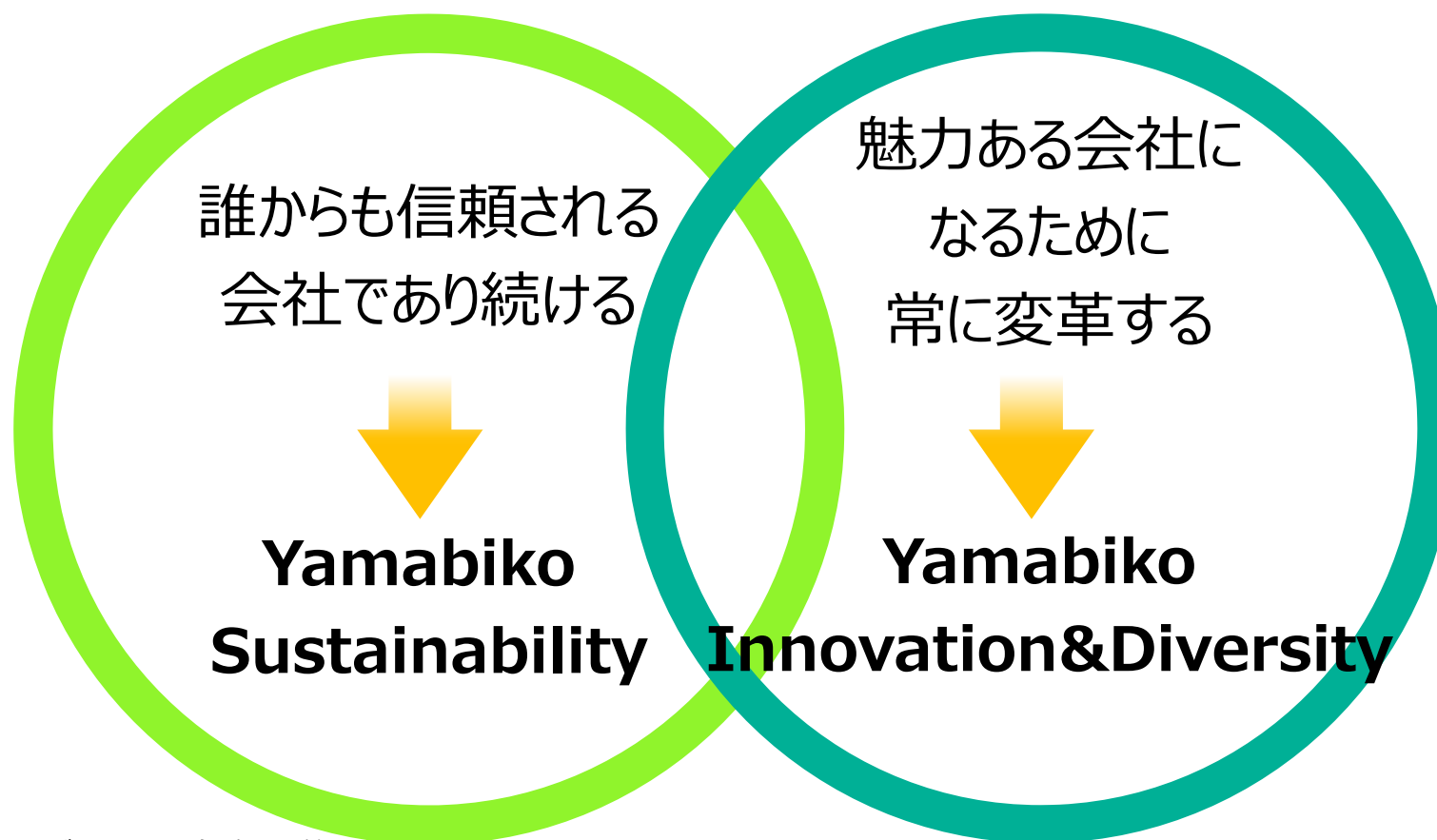
積極的なマーケティング・開発投資、
設備投資の実行

ロボット事業の買収、
やまびこヨーロッパ、やまびこジャパンの設立

国内：主に人手不足や資材費高騰による産機の低迷
米州：北米の景気回復に伴うOPE需要の拡大、穀物・資源価格の低迷による
農機・産機の伸び悩み、政情不安や経済悪化などによる中南米の低迷
その他海外：ルーブル安および原油安に伴うロシアの激減

主力の北米OPE事業が新規需要層や販路の開拓による販売量拡大など、堅調に推移した
ことで売上高は伸長。営業利益は生産量の増加に伴う生産性向上などにより4期連続で最
高益を達成。基本戦略は正しかったが、市場環境の大きな変化に対応しきれなかったことが
計画未達の要因。

4. 中期経営計画2019 方針および重点施策など



経営理念に掲げる4つの存在意義



世界最高の製品とサービスを提供し続けること



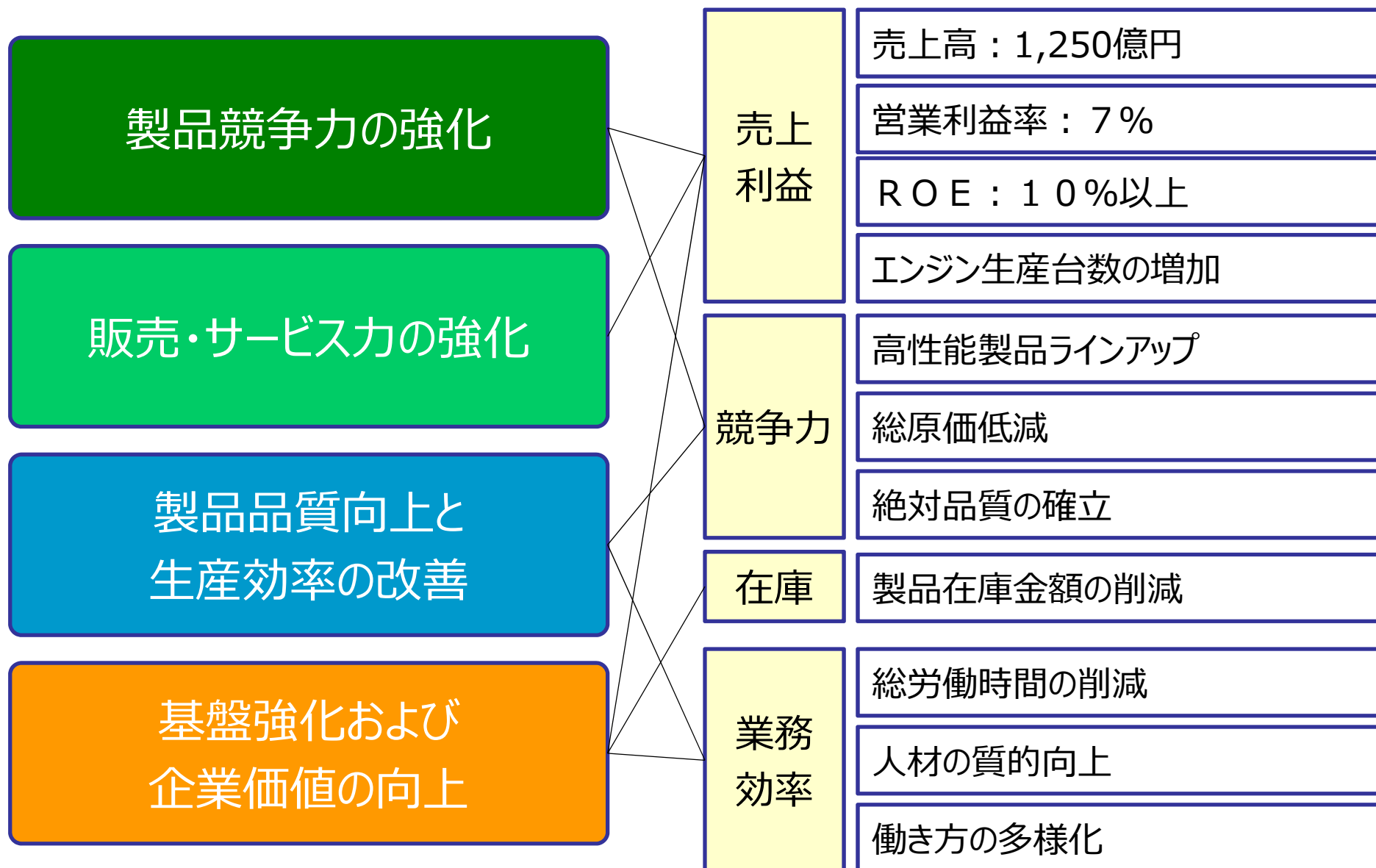
業界のリーダーとして顧客を創造し業界の成長を牽引すること



自然と環境の明日を担う人と企業に貢献すること

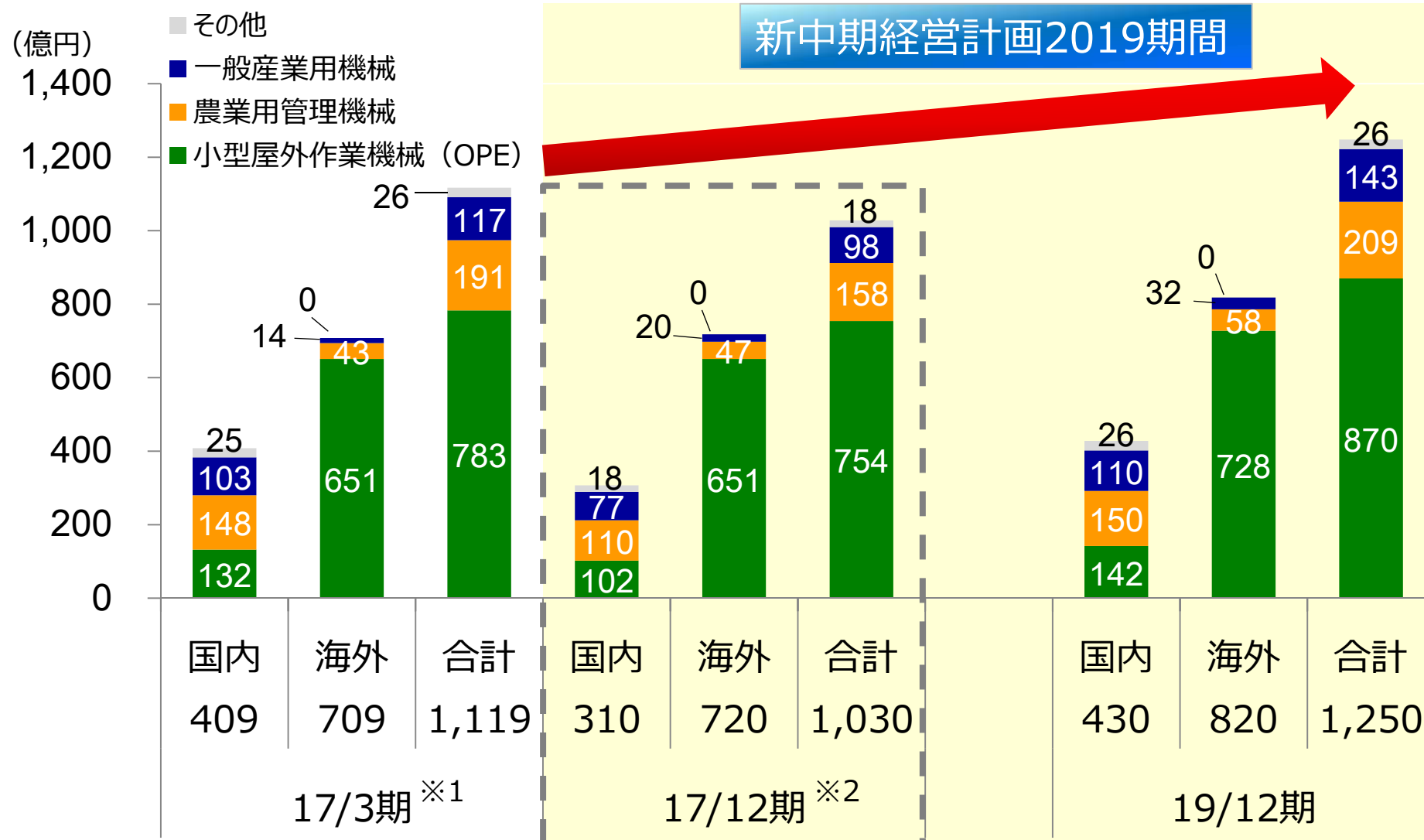


やまびこにつながる全ての人々を幸せにすること



(億円)		2017年3月期 実績	2019年12月期 計画
売上高		1,119	1,250
営業利益		76	88
(営業利益率)		(6.8%)	(7.0%)
親会社株主に帰属する 当期純利益		23	57
ROE		5.1%	10%以上
為替レート			
1ドル	当社レート	109円	110円
	米国子会社換算レート	109円	110円
1ユーロ		120円	120円

中期経営目標 セグメント別売上高



※1. 17/12期よりセグメント内容を変更するため、17/3期を組替再表示しています（未監査）。

2. 17/12期は決算期変更のため、9ヶ月決算となります。

北米

19/12期 売上高目標
560億円
(+11%)

代理店およびホームデポルト
の売上拡大による、ブランド力と
シェアの更なる向上

日本

19/12期 売上高目標
140億円
(+8%)

販路およびOEM供給の拡大と
サービス力の強化によるシェア拡
大

欧州

19/12期 売上高目標
104億円
(+16%)

主要代理店の成長戦略の実現
とロボット芝刈機の拡販による、
ブランド認知度の向上

その他海外

19/12期 売上高目標
64億円
(+12%)

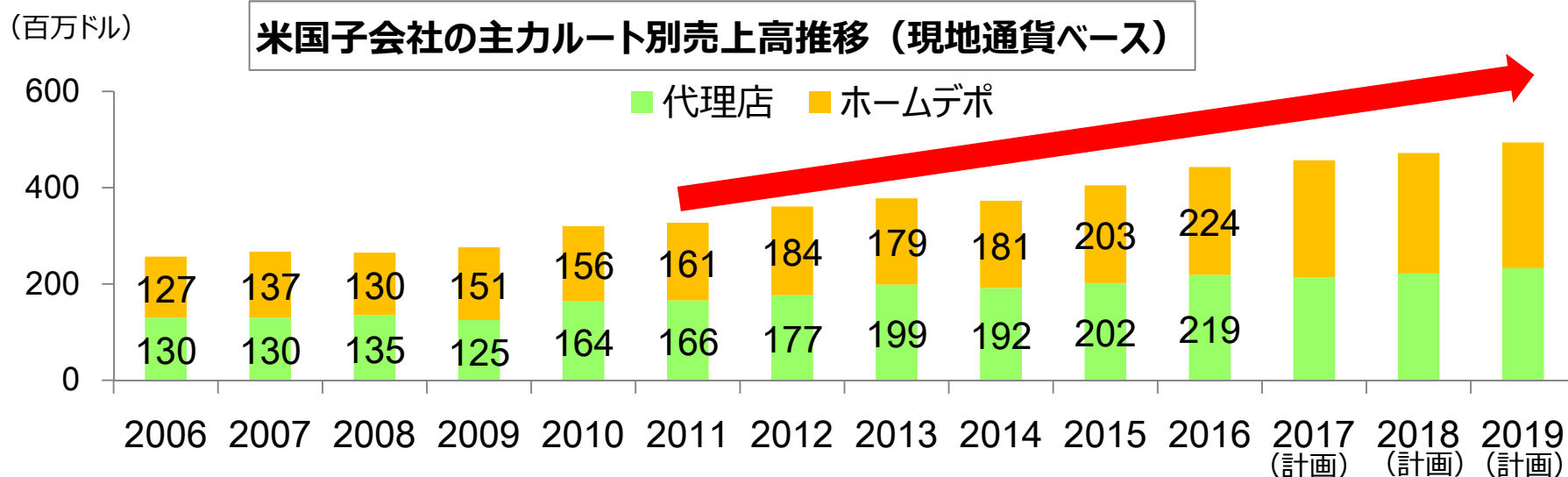
中国市場の販路開拓・深耕とア
ジア等市場への価格競争力の
ある製品投入による売上拡大

（カッコ内はすべて17/3期に対する増加率）

- ホームオーナー向け市場深耕（MLB・MLS看板広告など）
- プロ向けプロモーション展開（新たなイメージCM）
- 収益性の高いアクセサリの拡販
- 販売ネットワークの活用



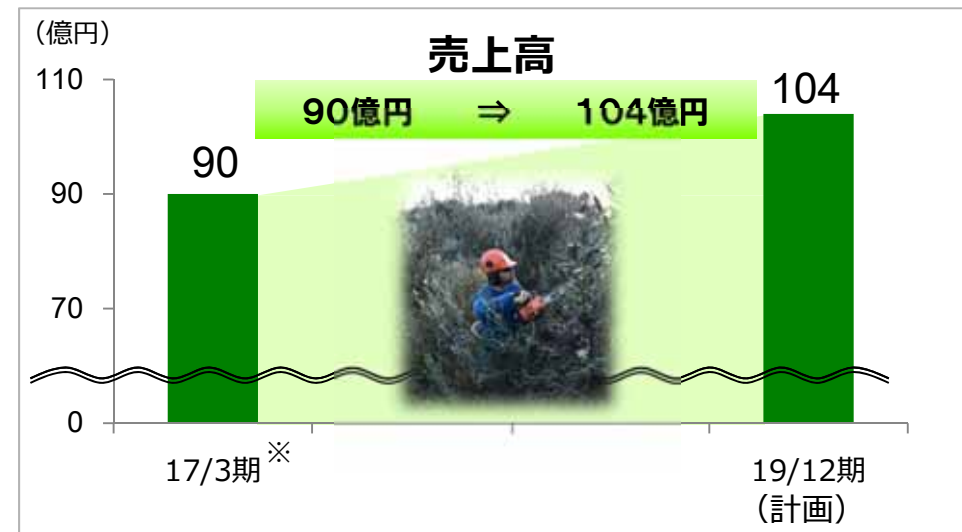
※17/12期よりセグメント内容を変更するため、17/3期実績を組替再表示しています（未監査）。



やまびこヨーロッパの本格稼働



- 主要代理店の成長戦略を実現
- ロボット芝刈機の拡販
- デジタルマーケティングの強化



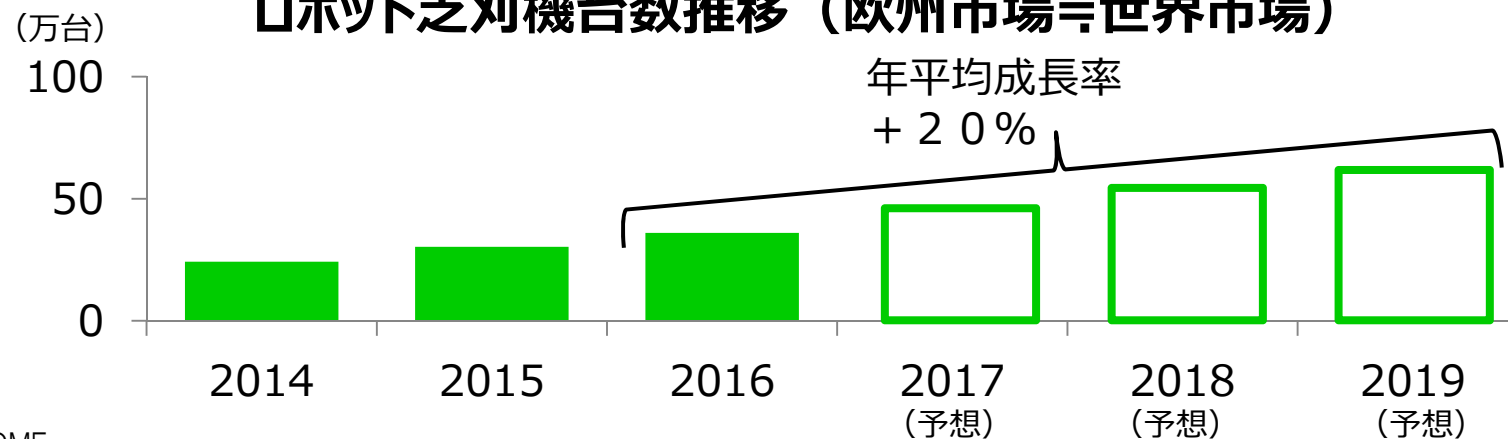
※17/12期よりセグメント内容を変更するため、17/3期実績を組替再表示しています（未監査）。



■ 新型ロボット芝刈機の販売開始



ロボット芝刈機台数推移（欧州市場≒世界市場）



出所:EGMF

セグメント別基本方針（農機）



日本

19/12期 売上高目標
150億円
(+1%)

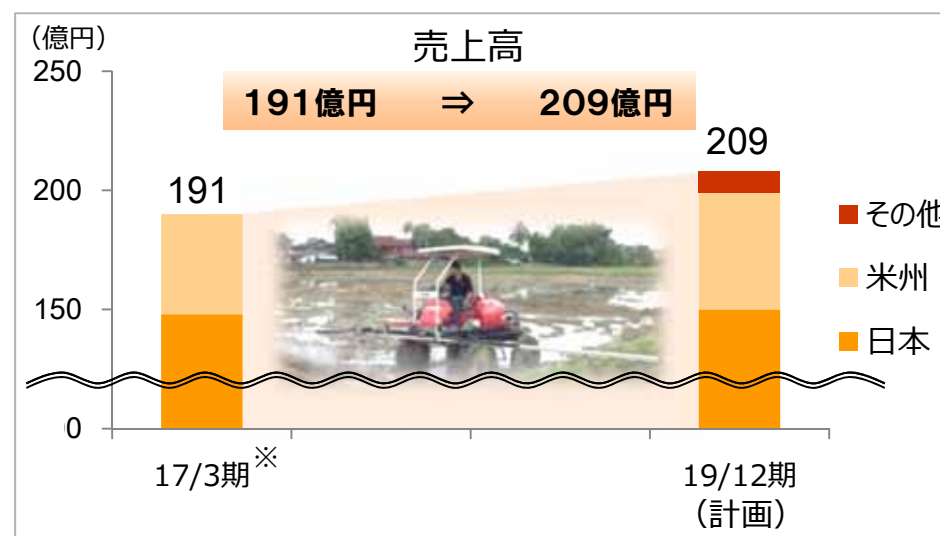
- 製品競争力の強化
- 製品ラインアップの拡充
- ドローン市場への進出
- サービス力の強化

海外

19/12期 売上高目標
58億円
(+37%)

- アジア市場の販売強化
- 東南アジア市場の販路開拓
- 生産体制の確立
(【仮称】愛可農機の設立)

(カッコ内はすべて17/3期に対する増加率)



※17/12期よりセグメント内容を変更するため、17/3期実績を組替再表示しています（未監査）。



中国などアジアで
大幅な伸長を目指す

セグメント別基本方針（産機）



日本

19/12期 売上高目標
110億円
(+ 7%)

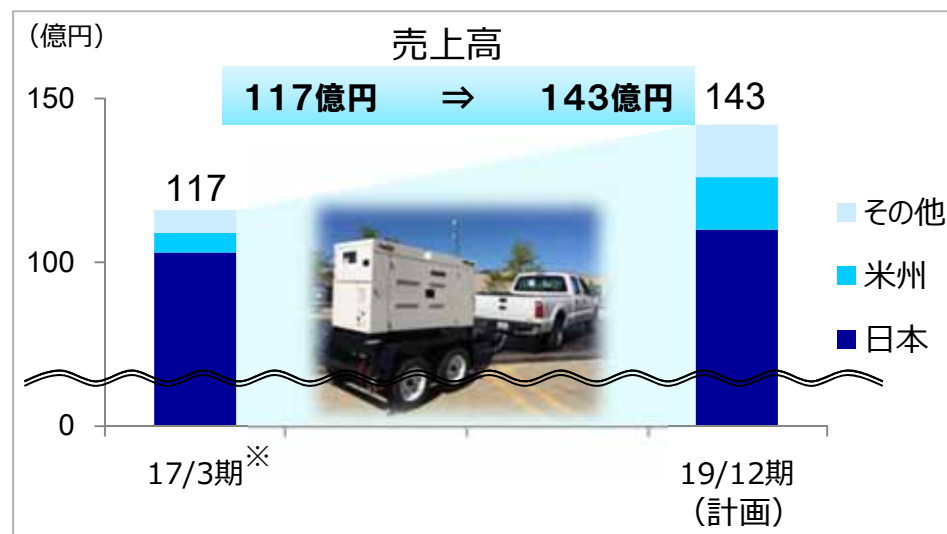
- オリンピック需要等の取込
- 製品競争力の強化
- 販売・サービス力の強化

海外

19/12期 売上高目標
32億円
(+ 130%)

- 新規市場開拓
- OEMビジネスの確立
- 販売ルート of 拡大
- 製品ラインアップの拡充

（カッコ内はすべて17/3期に対する増加率）

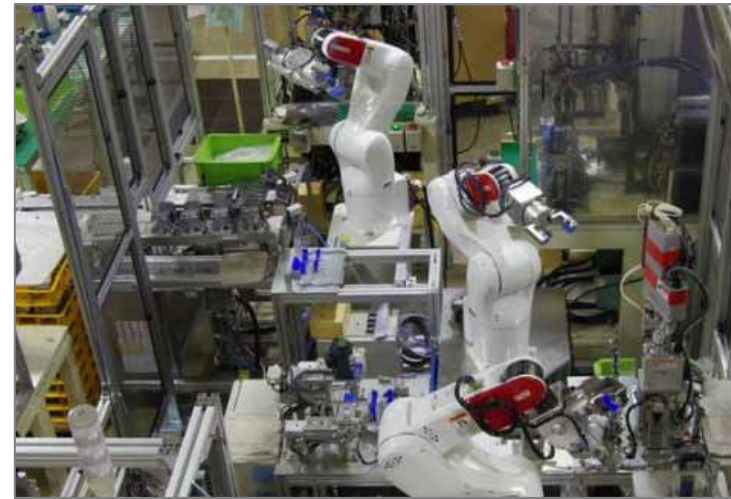


※17/12期よりセグメント内容を変更するため、17/3期実績を組替再表示しています（未監査）。



米国を中心に
海外売上
の伸長を見込む

- 生産ラインの自動化
- 海外調達の拡大
- 海外生産の拡大
- 生産物流の改善
- 国内販社統合による業務効率向上、固定費削減

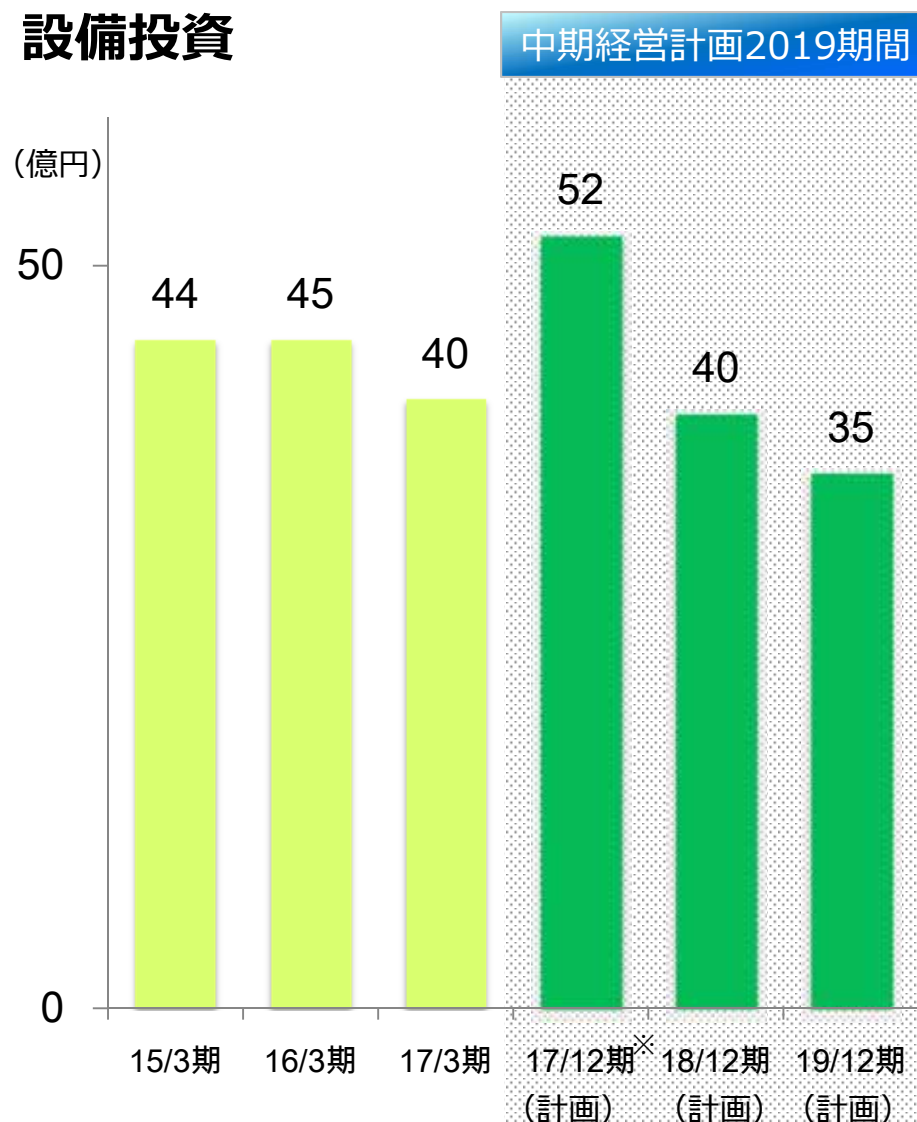


やまびこベトナム

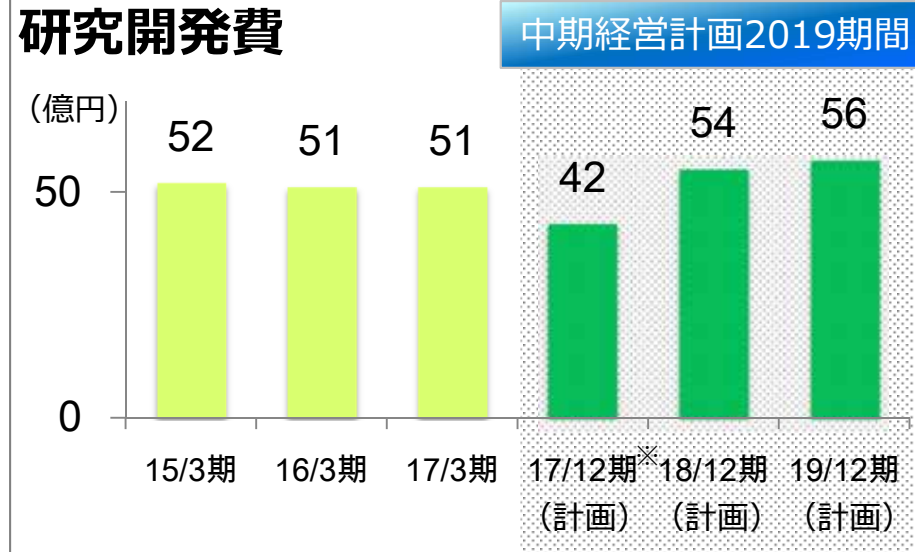


【仮称】愛可農機（蘇州） 2017年7月設立予定

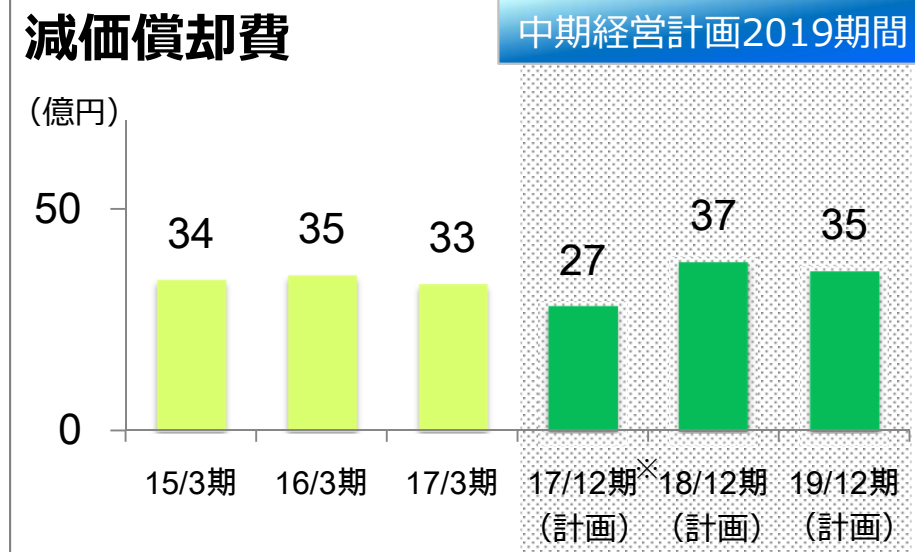
設備投資



研究開発費

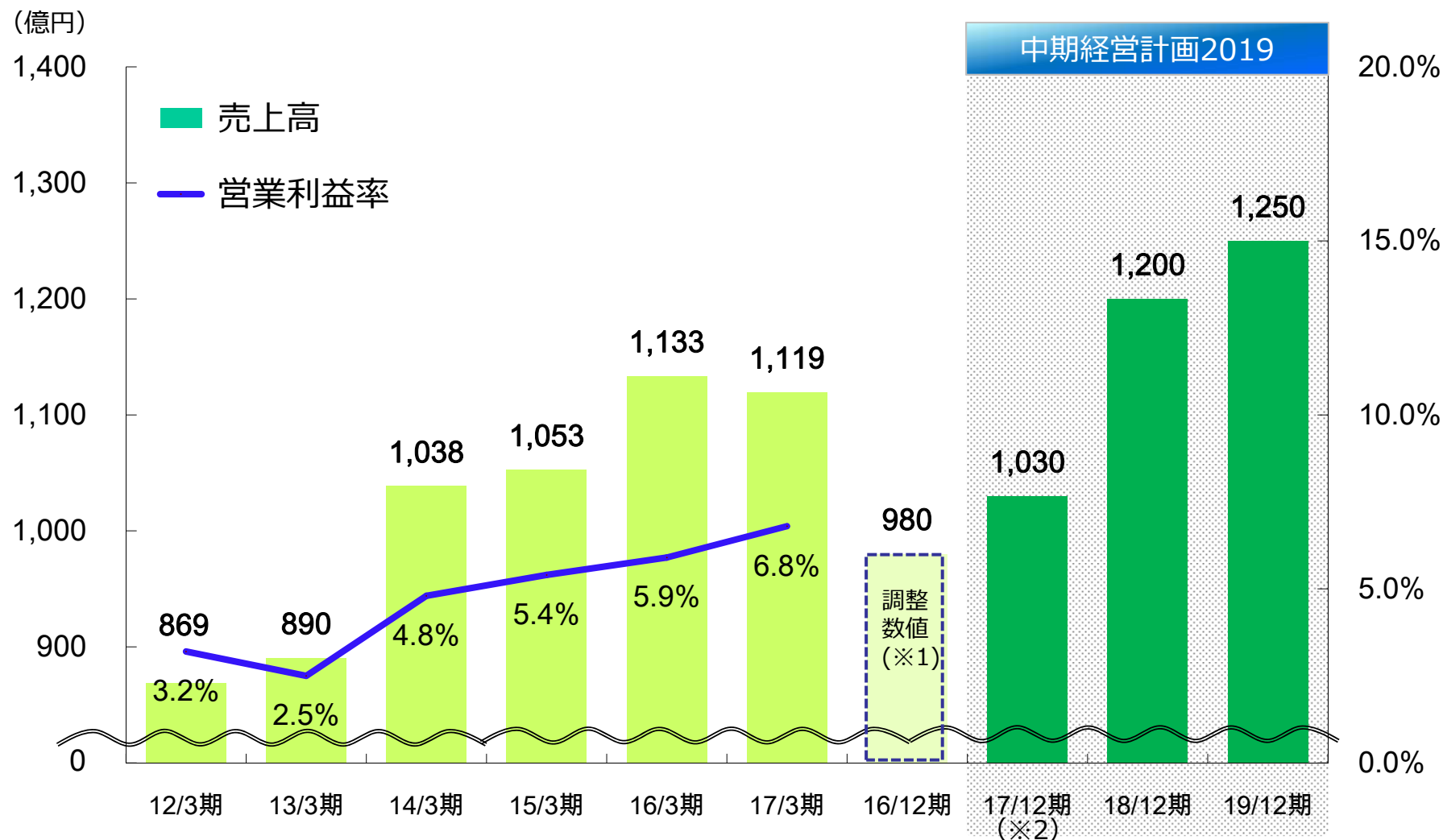


減価償却費



※17/12期は決算期変更のため、9ヶ月決算となります。

中期経営計画2019年次推移

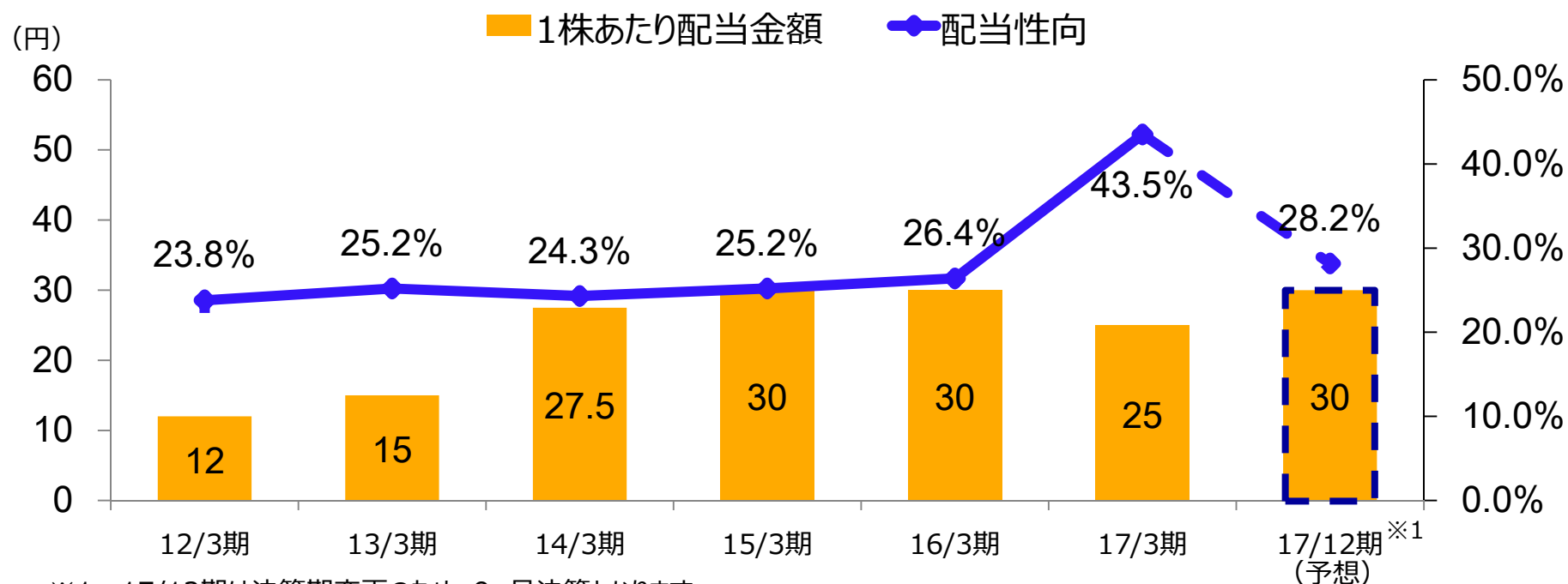


※1. 16/12期は比較参考用の調整数値であり、監査法人による監査は受けておりません。

2. 17/12期は決算期変更のため、9ヶ月決算となります。

株主還元

- 安定配当の継続
- 連結財政状態の改善を背景に
新中計から連結配当性向25%以上へ変更



添付資料

株式会社やまびこ 会社概要

『やまびこ』の概要



会 社 名	株式会社やまびこ (YAMABIKO CORPORATION)
設 立	2008年12月1日
本 社	東京都青梅市末広町一丁目7番地2
売 上 高	111,945百万円 (2017年3月期連結)
資 本 金	6,000百万円
決 算 期	3月31日※1
連 結 子 会 社 数	17社 (国内10社※2・海外7社／2017年3月末現在)
従 業 員 数	3,117名 (2017年3月末現在／連結)
上 場 市 場	東京証券取引所第一部
証 券 コ ー ド	6250
発 行 済 株 式 総 数	44,108,428株 (2017年3月末現在)
単 元 株 式 数	100株

※ 1. 2017年6月29日開催予定の第9回定時株主総会で「定款一部変更の件」が承認されると決算期は12月31日に変更となります。

2. 2017年4月1日国内販売子会社7社を合併 (合併後の国内連結子会社は4社)

	 株式会社 共立	新ダイワ工業株式会社
設立(創業)	1947年(昭和22年)	1952年(昭和27年)
取扱ブランド	  国内の農林業機械 全世界の小型屋外作業機械	 全世界の小型屋外作業機械・一般産業用機械

« 資本提携以前の小型屋外作業機械 (O P E※) 市場の状況 »

- ★ 欧米 (特にアメリカ) の排出ガス規制への技術的対応
- ★ グローバルレベルでの業界再編・競争激化
- ★ 新興国企業の廉価攻勢
- ★ 顧客ニーズの多様化

« 資本提携・共同持株会社設立・合併までの経緯 »

2007年 5 月 業務・資本提携基本契約締結

2008年12月 共同持株会社『やまびこ』設立

2009年10月 『やまびこ』が 共立 および 新ダイワ工業 を吸収合併し事業会社化

＜社名の由来＞ 山の神様である「山彦」を社名に掲げ、自然と環境の育成、整備への貢献を理念に持つ会社姿勢の象徴とする。

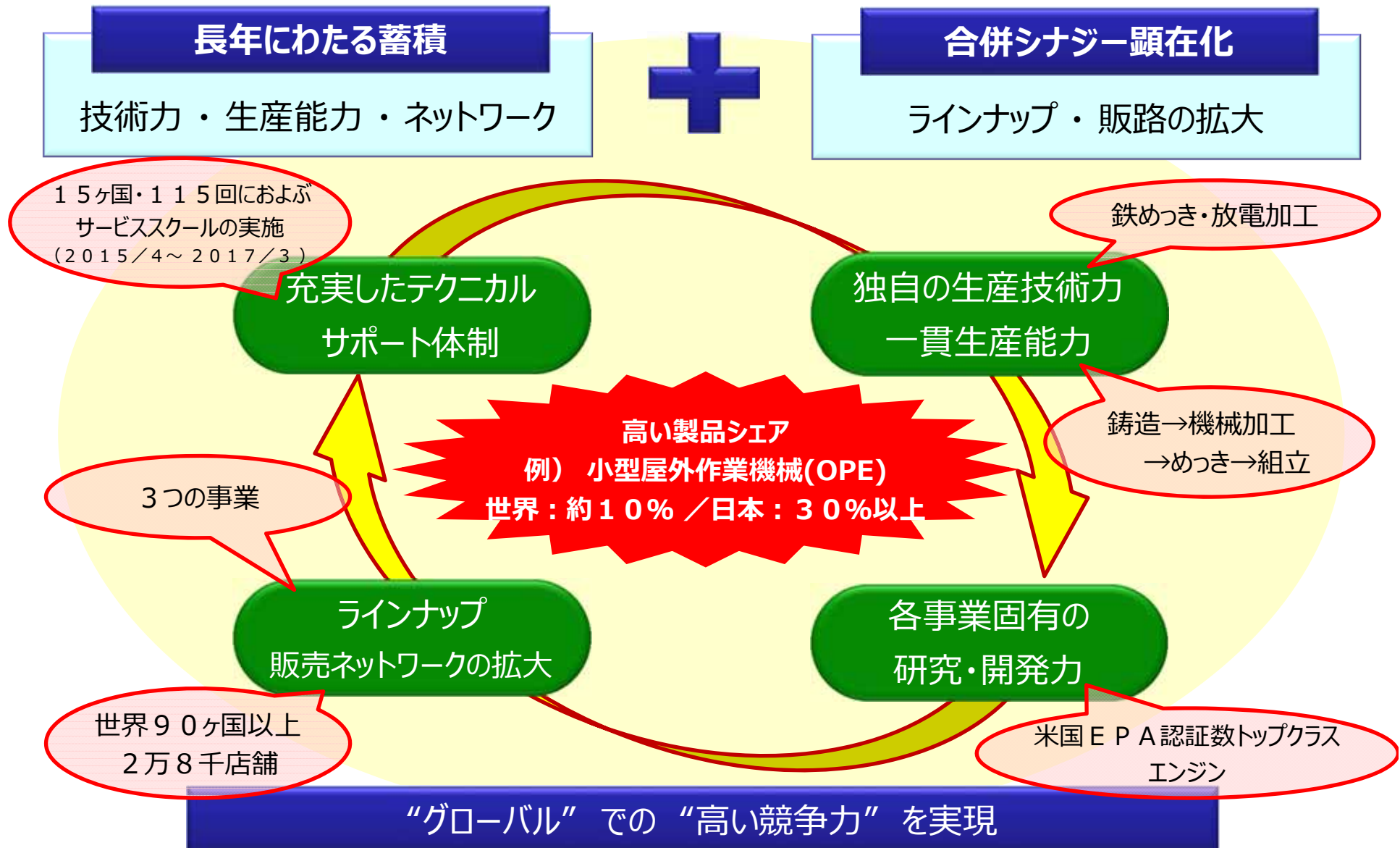
※Outdoor Power Equipment

『やまびこ』って？



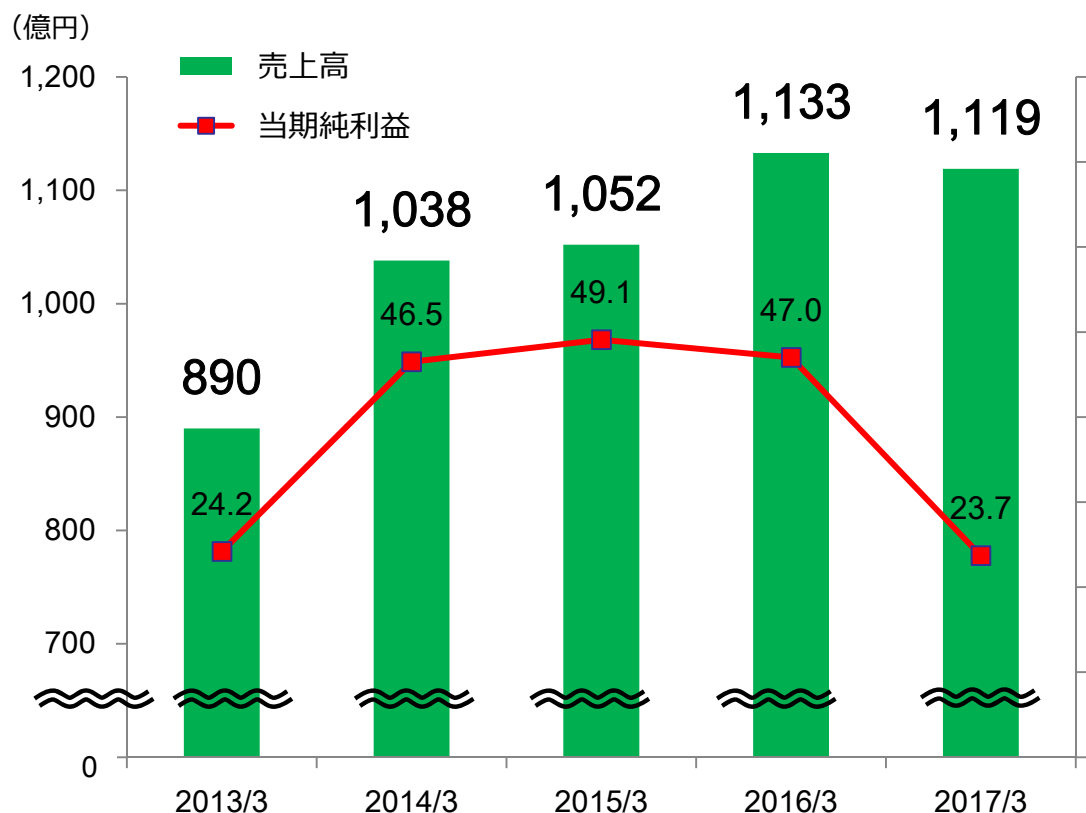


(注)2017年12月期より、事業セグメント内容の一部が変更となります。



為替の影響を受けながらも着実に業績向上 / 海外売上高が60%超

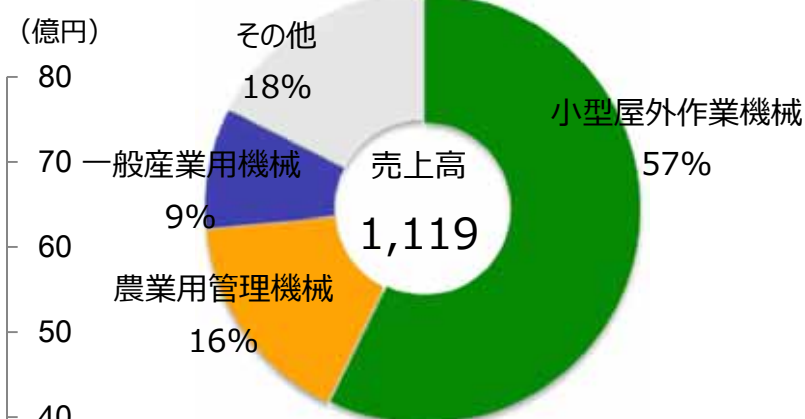
売上高推移



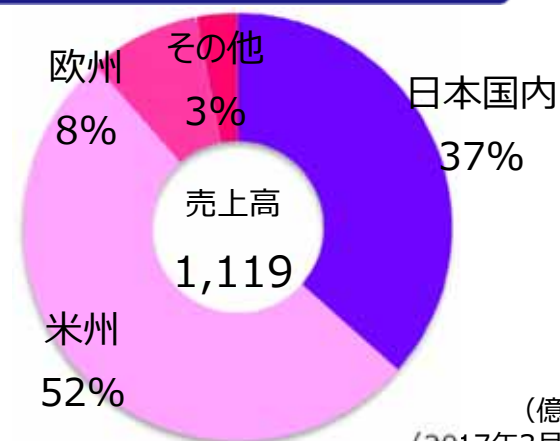
1ドル	80	100	110	121	109
1ユーロ	109	134	139	132	120

(ドルは米国子会社換算レート)

事業別売上高



地域別売上割合

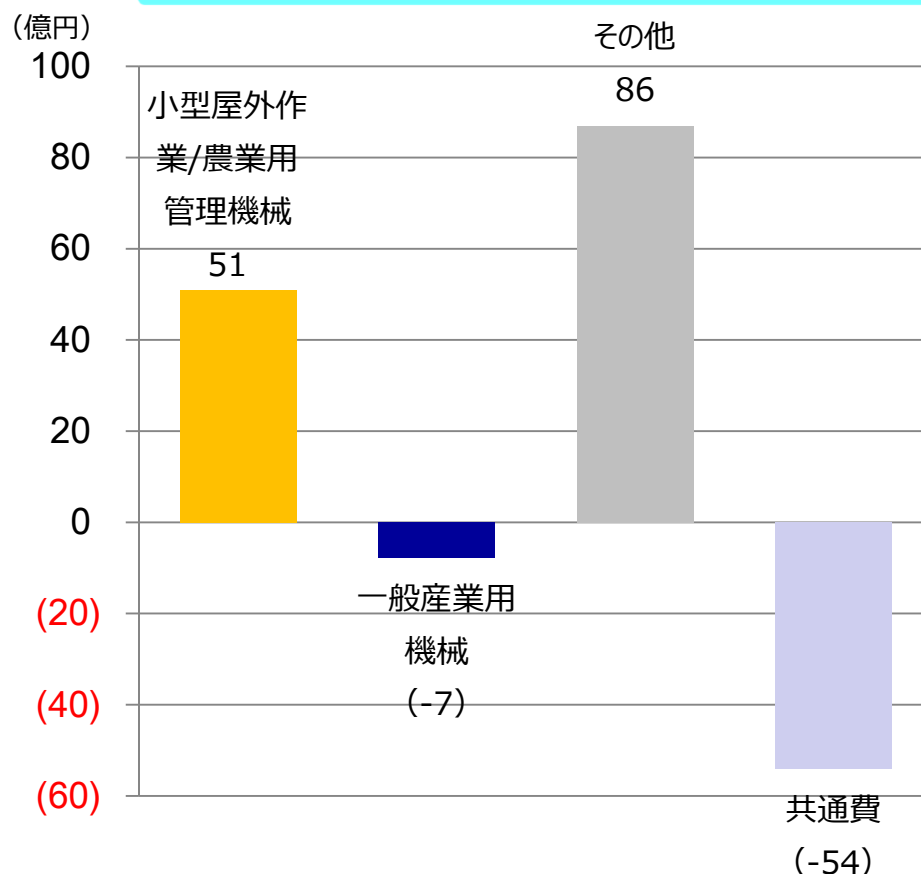


(億円)
(2017年3月期)

【 その他セグメント （アクセサリー・スペアパーツ） 】の収益性

営業利益構成

営業利益：76億円（2017年3月期）



(注)2017年12月期より、事業セグメント内容の一部が変更となります。

アクセサリー・スペアパーツの例（刈払機）



補足資料

セグメント の概要

セグメント	事業	概要
小型屋外作業 ・農業用管理機械	小型屋外作業機械 (OPE※)	「手で持つ」もしくは「背負って」使用する小型エンジンを搭載した機械の製造販売
	農業用管理機械	国内における防除機械、北米における農作物収穫機械、欧州を中心に展開する自動芝刈機の製造販売
一般産業用機械		建設・土木・鉄工用機械の製造販売
その他		上記機械のアクセサリ、部品の製造販売とアフターメンテナンス

主要製品

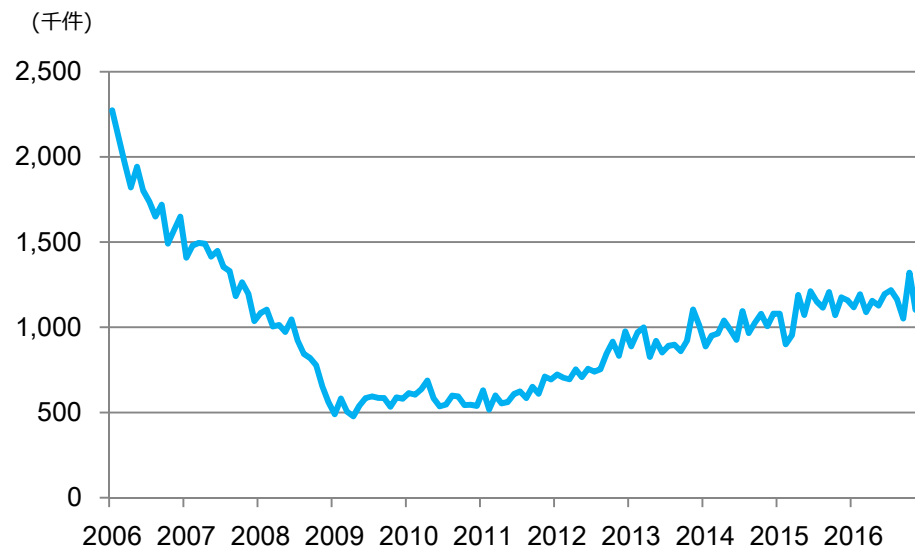
セグメント	事業	主要製品
小型屋外作業 ・農業用管理機械	小型屋外作業機械 (OPE※)	刈払機、チェーンソー、パワーブロワ、ヘッジトリマー
	農業用管理機械	防除機（動力噴霧機、スピードスプレーヤ、乗用管理機）、畦草刈機、大豆収穫機、自動芝刈機
一般産業用機械		発電機、溶接機、投光機、切断機、高圧洗浄機
その他		部品（アフターメンテナンス）、アクセサリ

（注）2017年12月期より、事業セグメント内容の一部が変更となります。

※Outdoor Power Equipment

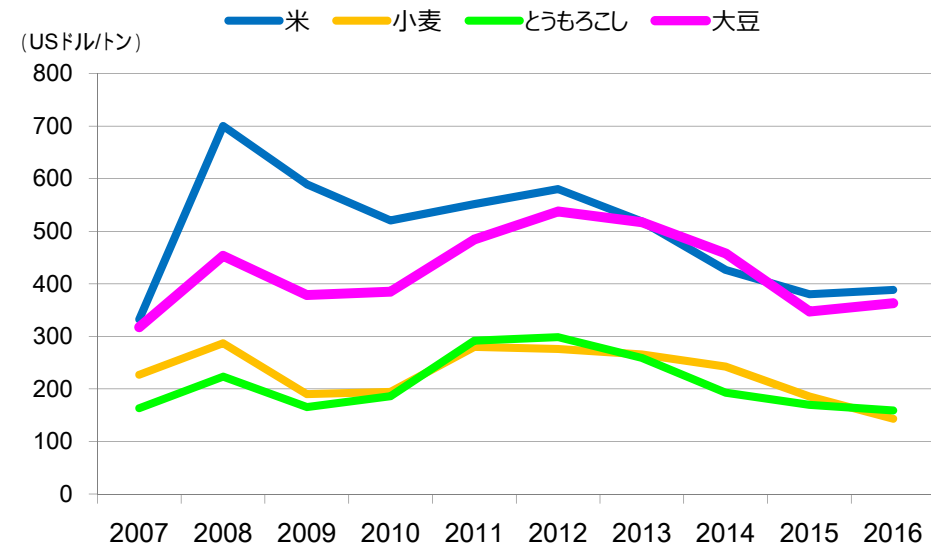
事 業	関連指標等
小型屋外作業機械(OPE)	北米：住宅着工件数 等 南米：穀物価格（大豆、トウモロコシ、コーヒー） 等 露：原油価格 等
農業用管理機械	米国：穀物価格（大豆、トウモロコシ） 等
一般産業用機械	北米：原油価格 等

米国住宅着工件数
(季節調整済年率換算値)



U.S.Census Bureau: New Residential Construction

穀物価格



IMF - Primary Commodity Prices

事業	関連指標等
小型屋外作業機械 (OPE)	(一社) 日本農業機械工業会出荷実績 (刈払機)、米価 等
農業用管理機械	(一社) 日本農業機械工業会出荷実績 (防除機)、米価 等
一般産業用機械	(一社) 日本陸用内燃機関協会 (携帯発電機)、(一社) 日本建設機械工業会出荷金額統計 (その他建設機械)、建設関連業等の動態調査報告、工作機械受注高 等

出荷実績



注：会員企業の入退会に伴い、2014年4月より報告会社数が変更。(防除機：7社→6社、刈払機：11社→12社)
(一社) 日本農業機械工業会出荷実績

(一社) 日本陸用内燃機関協会携帯発電機研究会集計 (3kVA以下)

当社の強み① 小型エンジンの開発力・生産力（一貫生産体制）



チェーンソー



刈払機



パワーブロワ



ヘッジトリマー

小型エンジンを搭載した小型屋外作業機械

高い開発力

長年にわたるノウハウの蓄積

顧客ニーズにきめ細かに対応可能

高性能・高耐久・高品質エンジン

小型・軽量・高出力
(手持機械に最適)

環境対応エンジン認証数
業界トップクラス

小型エンジンに必要な技術を保有

2ストローク

2ストローク
(層状)

4ストローク
(混合)

4ストローク
(分離)

当社の強み② 販売ネットワーク

2016年実績



世界 90ヶ国以上 / 2万8千店の販売ネットワーク

【3つの事業】 2. 農業用管理機械

国内



動力噴霧機



乗用管理機



スピードスプレーヤ

海外



大豆収穫機



ジャガイモ収穫機

技術的な強み

国内： 共立の創業時の理念「食糧増産による社会貢献」を礎に長年にわたって蓄積してきた送風技術・噴霧技術・ポンプ技術。

海外： 収穫効率向上のための送風技術（特許）。機器の軽量化・小型化の技術。

やまびこノズルの噴霧状態（扇形状）
（平均粒子径 110～270 ミクロン）



ドリフトが少ない

農薬飛散を低減させる
やまびこ自社開発ノズル



共立独自の整流機構

効果的な農薬散布を
可能にした整流機構

【3つの事業】 3. 一般産業用機械



エンジン溶接機



ディーゼルエンジン発電機



ガソリンエンジン発電機

技術的な強み

新ダイワ工業の創業時から蓄積された A C モータ開発技術を進化・発展させた
発電機設計技術・電子制御技術・防音技術。



世界初の三相/単相 3 線切替なし
同時出力可能 (米国特許・国内
特許取得済み)



防音技術

小型屋外作業機械（OPE）

開発本部研究開発部

先行技術・要素技術の研究・開発および解析業務

開発本部開発第一部

製品の設計・開発

開発本部開発第二部

電動製品の設計・開発

開発本部実験部

製品の試験

エコー・インコーポレイテッド
（米国）

用途開発・製品試験

「開発の重点」

- グローバルレベルでのエンジン排ガス規制対応
- 北アメリカでの燃料透過規制対応
- ヨーロッパでの騒音および振動規制対応
- 小型軽量化・低騒音・低燃費・耐久性向上・安全性向上

農業用管理機械

農業機械本部開発部

農業用管理機械
などの設計・開発

クレイリー・インダストリーズ
（米国）

チップーシュレッダー・
大型農業機械などの開発

クレイリー・アグリカルチャル・ソリューションズ・エル・エル・シー（米国）
農業用排水管理設機械の開発

やまびこヨーロッパ・エス・エイ（ベルギー）
ロボット芝刈機的设计開発

「開発の重点」

- ドリフト対策・適量散布・高性能化・操作性簡便化

一般産業用機械

産業機械本部開発部門
発電機、溶接機などの
設計開発

「開発の重点」

- 小型軽量化・低騒音
・高性能・高機能
・低燃費

電子・電気制御

電子制御研究所

電子・電気制御技術の研究

「研究の重点」

- 電子制御化

（注）2017年12月期より、事業セグメント内容の一部が変更となります。

● 生産本部横須賀事業所

小型屋外作業機械の製造（鋳造・金属処理・機械加工・組立 等）

● 生産本部盛岡事業所

小型屋外作業機械の製造（機械加工・塗装・組立 等）

防除機の製造（板金・塗装・組立 等）

※ 防除機の搭載エンジンは他メーカーからの調達

● 生産本部広島事業所

小型屋外作業機械の製造（機械加工・組立等）

発電機・溶接機・電動工具の製造（組立 等）

※ 発電機等の搭載エンジンは他メーカーからの調達

● 生産関連子会社

追浜工業株式会社（横須賀市）：電装部品・歯車

双伸工業株式会社（青梅市）：樹脂部品

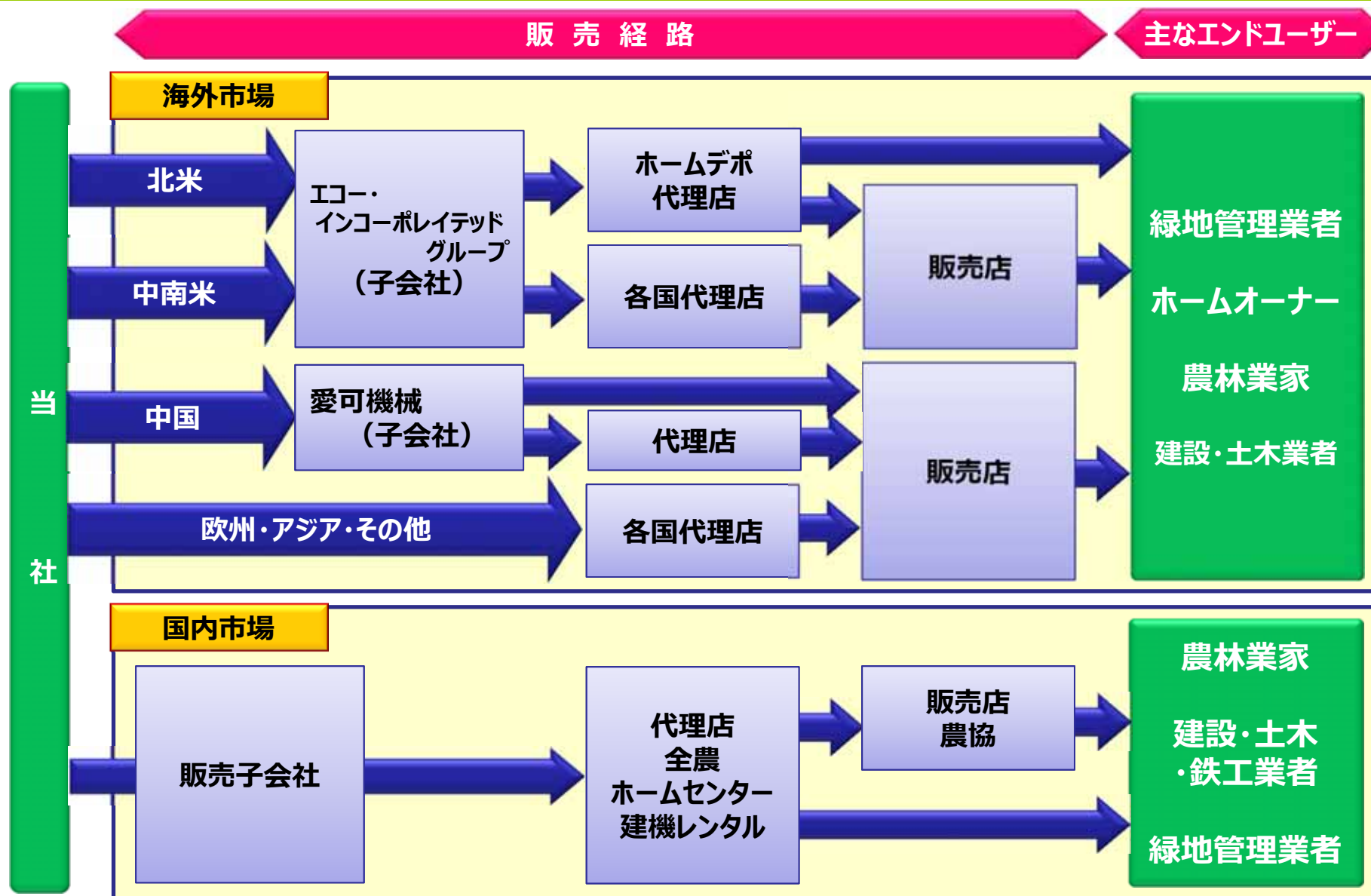
株式会社ニューテック（長野市）：鋳造部品

やまびこエンジニアリング株式会社（安芸高田市）：板金加工



- **エコー・インコーポレイテッド（アメリカ イリノイ州）**
小型屋外作業機械の製造 ※エンジンおよび一部部品は当社国内工場から支給
- **クレイリー・インダストリーズ（アメリカ ノースダコタ州）**
チップーシュレッダー・大型農業機械等の製造
- **クレイリー・アグリカルチャル・ソリューションズ・エル・エル・シー（アメリカ ミネソタ州）**
農業用排水管理設機械の製造
- **クイック・プロダクツ・インク（アメリカ アリゾナ州）**
当社製品のスペアパーツ等の製造
- **やまびこヨーロッパ・エス・エイ（ベルギー ブラバン・ワロン州）**
ロボット芝刈機の製造
- **愛可機械（深圳）有限公司（中華人民共和国 広東省）**
小型屋外作業機械の製造 ※エンジンおよび一部部品は当社国内工場から支給
- **やまびこベトナム（ベトナム トゥーザウモット市）**
一般産業用機械の部品製造





販売店

海外市場



海外における販売店ではブランド別に製品を展示。販売員が、エンドユーザーのニーズを聞きながら対面販売。



ホームセンターにおいては各機種群別・価格別に製品を展示。エンドユーザーはニーズや予算およびC M等で得たイメージをもとに購入する。



国内市場



販売店や代理店と協力しながら展示会を実施し、実演や試乗を通じて販売。
販売店と共にエンドユーザーを訪問しユーザーのニーズを捉えたうえで、製品を販売。

主なエンドユーザー

海外市場

緑地管理業者

ホームオーナー

農林業者

建設・土木業者

国内市場

農林業家

建設・土木
・鉄工業者

緑地管理業者

主なグループ会社の状況（2017年4月1日現在）



		小型屋外作業機械 (O P E)	農業用管理機械	一般産業用機械
海外	生産 販売	エコー・インコーポレイテッド やまびこヨーロッパ・エス・エイ 愛可機械	クレイリー・インダストリーズ クレイリー・アグリカルチャル ・ソリューションズ・エル・エル・シー	エコー・インコーポレイテッド
	生産	クイック・プロダクツ・インク	愛可機械	やまびこベトナム
	販売	ゴールデンイーグル ディストリビューティング		
国内	生産 販売	ニューテック		
	販売	やまびこジャパン		
	生産	追浜工業 双伸工業		やまびこエンジニアリング

人と自然と 未来をつなぐ

私たちやまびこグループは、事業の発展を通じて、
世界中の自然環境と、共に歩む全ての人の
美しい未来をつくる、そんな企業を目指します。

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

【お問合わせ先】

株式会社やまびこ

総務部株式 I R 課

〒198-8760 東京都青梅市末広町1-7-2
TEL : 0428-32-6111 FAX : 0428-32-6143
e-mail : ir6250@yamabiko-corp.co.jp